

落ち着いた学校生活のために

そのための「枠組み」をしっかりと入れましょう

2019. 10. 09

No.80

校長 渡邊 幸二

浜田小学校の子どもたちは、いろいろなことを背負いながら生活していて大変だなあと思うときがあります。しかし、だからといってそのはけ口として、自分勝手にふるまって良い、暴力をしても良い、いじめても良いということには絶対になりません。そんな子どもが多くいる学級の担任の先生方の日々のご奮闘に、本当に感謝しています。そんなクラスを支える意味でも、もう少し学校全体で落ち着いた暮らしができるよう、次の点について学校全体で徹底したいと思います。

廊下、階段は遊び場所ではない！

低学年に多いのですが、どうしても走り回ったり、鬼ごっこなどの遊びをしていたり、そういう姿が見られ、何だか落ち着きません。上級生も一緒になって走り回っていることもあります。遊ぶのであれば、浜田小の場合、どことどこというふうに指定しているのでしょうか。確認しましょう。

廊下、階段は遊び場所ではないことを徹底し、できれば「えしゃく」のできる子どもたちにしてください。

確認されたこと

エネルギー発散の方法

昨年度はあまり感じませんでしたでしたが、今年度気になることとして、学校のあちこちから「キヤー」という奇声が発せられることです。これもまた落ち着かない生活の要因にも感じるのですが、みなさんはどう思っていますか。

確認されたこと

集団が集まった場で

先日はそうじの会が、今日も全校児童が集まった音楽朝会がありました。こんな時は「立つ」「すわる」の際には、スッと、無言でやりたいものです。これは、600人の学校でもできることです。

確認されたこと

他にもお気づきのことがありましたら、本日の打ち合わせで確認したいと思います。